

スト削減につながる。農家の皆さんが頑張っておられることを更に充実する取組を考えていく。

西村正尚議員

小規模基盤整備事業（ほ場整備事業）を行うことで耕作放棄地発生への解消につながると思うが、町長の考えは。

岩崎町長

ほ場整備については、緊急に取り組まなければならぬ課題であり、皆さんのご意見を伺いながら判断する。

小笠原春行議員

褐毛牛飼育委託事業はどういう方法で行うのか。

宮内産業建設課長

県の施設等で飼育されている妊娠牛を購入し、モデル地区を決めて飼育してもらい、生まれた子牛は飼育者に無償譲渡する計画である。飼育者の募集方法などは今後検討するが、畜舎や放牧する場合は牧柵が必要とな

る。受け入れ可能な地区があれば、取り組んでもらいたい。

岡本淳議員

農家が老朽化したハウスの更新をしたい場合、有利な制度はないか。

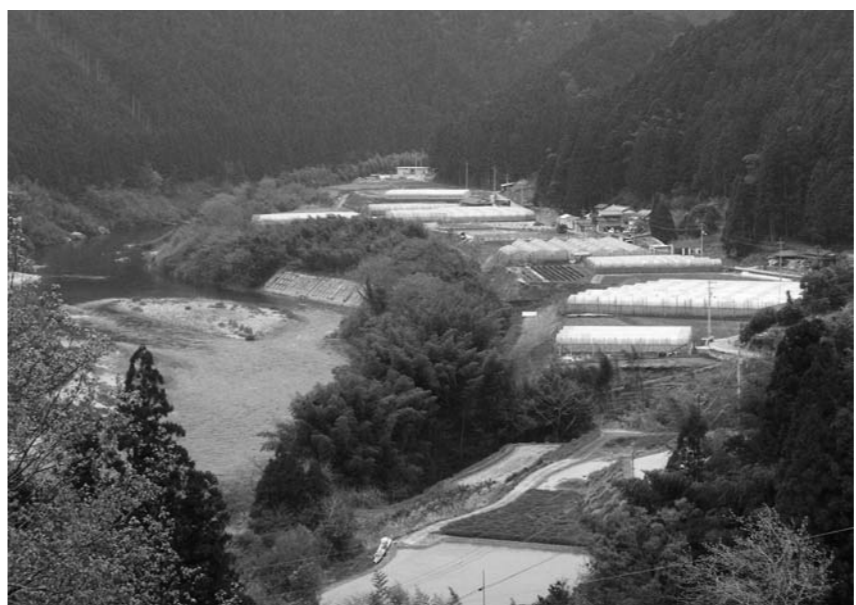
宮内産業建設課長

県が行う事業で、ハウスの購入費の約1/2を県

と町が補助する制度があり、当初予算に計上している。ただし補助対象にならない資材等もある。またビニールハウスのビニールを張り替える費用についても、今年度から一定の支援をするため予算計上している。

佐藤徳治議員

有害鳥獣捕獲報償費と



農業用ハウスが並ぶ谷地区

シカ個体数調整事業報償費について、捕獲数の実績と事業の効果は。

宮内産業建設課長

平成21年度でサルが25頭、シカが有害鳥獣捕獲報償費で403頭である。また、シカ個体数調整事業報償費の実績は3月15日現在で499頭である。シカについては、引き続き個体数の調整をしなければ、被害が広がるおそれがあり、平成22年度は県から500頭の個体数を調整するよう委託の話があった。

小笠原春行議員

ゆとりすとパーク、梶ヶ森といった拠点観光施設の管理運営を大新東株に委託して4年が経過したが、地元で雇用していた社員も辞めてしまい、管理を委託した効果がみられない。今年度新たに地域間交流推進事業委託料として予算計上しているが、こうした事業によってこの拠点観光施設を含めた大豊町の観光事

業を改善するのか。

岩崎町長

地域間交流推進事業委託では、観光事業の専門家を招き大豊町としての交流事業に取り組む。地域の人口が減少する中でも、地域外のの人々との交流を図ることが必要であり、本町の大きな取組として今後3年間でこの交流事業を進める。

前田邦明議員

起業支援補助金の内容は。

岩崎町長

若い世代や商工会青年部から要望があったもので、地域資源を生かして取組を起こそうとする人々たちを支援するための補助金で、研修費や講師謝礼を対象としている。

西村正尚議員

「杉の大スギ」の駐車場が狭く大型バスも入りにくいが、整備について計画は。

岩崎町長

杉地区の皆さんが公園を整備したり、様々な取組をされている。町としては、こうした取組を支援しながら、駐車場については今後検討していく。

都築正光議員

道路パトロールは大豊ゆとりファームに委託しているが、パトロール範囲はどこか。

宮内産業建設課長

町道39路線、林道6路線、農道3路線を委託している。幹線林道のような範囲の広い路線、あるいは人家のないところを優先してパトロールしている。

都築正光議員

屋外離着陸整備工事費は西峰地区のどこに整備するのか。

佐々木総務課長

西峰蔭の町道柚木線手前の休耕田を予定している。

都築正光議員

急傾斜地だが、地盤は大丈夫か。西峰中学校跡地は利用できないのか。

佐々木総務課長

平地ではあるが、200m程度の進入路が必要である。中学校跡地は電線等があり、ヘリの離着陸は困難である。

小笠原春行議員

小学生がクラブ活動と



「杉の大スギ」駐車場

してソフトボールなどをしていて、活動するための資金集めに苦労しているようである。町としての支援はないか。

吉松教育長

ソフトボールなどは子ども会を中心に行っている。支援については今後検討する。

岡本淳議員

放課後子ども教室推進

事業運営委託料の内容は。

吉松教育長

平成21年度は大豊小学校で実施したが、今年から全小学校で実施する。コーディネーター、学習アドバイザーなどの報酬費が主なものである。子どもの学力向上が目的となっている。

岡本淳議員

公民館活動費については、地域の活性化のためにも人材育成が必要である。地域で若い人たちが自分で事業展開できるような事業を要望するが、町長の考えは。

岩崎町長

「みんなで支える郷づくり事業」では色々な取組ができる。人づくりは地域づくりに通じるものであり、みんなで支える郷づくり事業を中心に地域での活動が活発化すると考えている。

重森一宗議員

みんなで支える郷づくり事業の補助金は、複数の地区の区長が地区や集落維持のために活動をするときの経費であり、公民館活動費とは分けるべきではないか。地区の公民館長が何か活動をしたいと思っても、電話使用料も郵便切手代もない。

岩崎町長

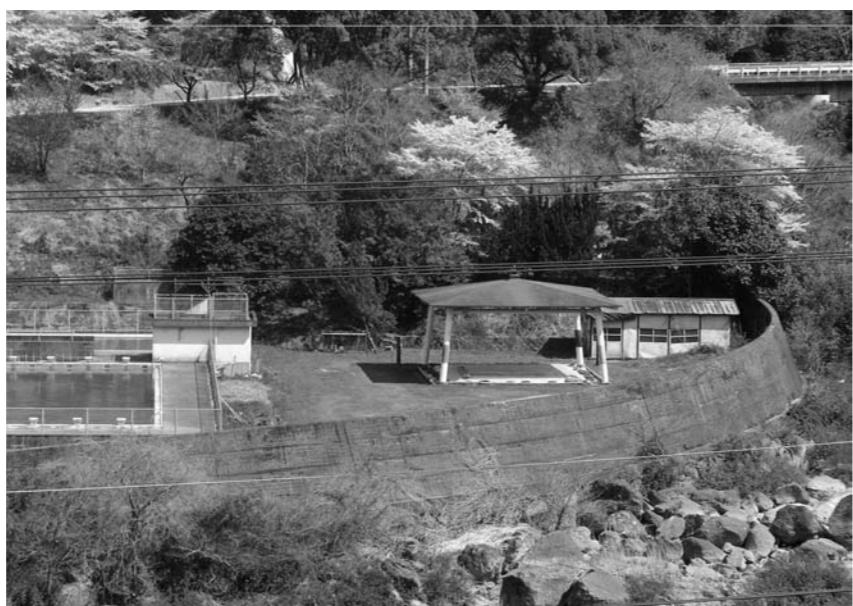
地区としても公民館としても、地域からの提案はみんなで支える郷づくり事業で受けとめ、取り組んでいく。

山中英榮議員

社会体育施設整備補助金の内容は。

吉松教育長

老朽化している大杉農村広場にある相撲場の部屋について、町有林の木を利用して、高知工業高校建築科の実習として、新しく部室兼多目的施設を建築していただき、小学生がプールを使用する際の着替え場所にも使用する



農村広場の相撲場と部室

る予定である。面積は約28㎡を計画している。

今井安博議員

中山間地域等直接支払制度の事務手続きが非常に複雑で、集落の事務を請け負っている方は大変苦勞しているようである。今年度から新たに制度が始まるが、事務の簡素化は図れないか。

岩崎町長

直接支払制度は国の制度であり、制度に従った事務が必要である。各市町村が同じ手続きをしているので、協力して事務の簡素化を訴える必要がある。また現在集落単位で協定を結んで取組を実施しているが、例えば町内を一つの協定とすれば、事務は町も支援しな